

井上哲士議員の政治活動総覧について、信頼できる情報源を用いて包括的なファクトチェックを実施いたします。基本的な事実確認を行ったので、ここでファクトチェック結果をまとめます。

## ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：34項目

問題あり：4件

要確認：8件

問題なし：22件

## 詳細な検証結果

### 1. 固有名詞

#### 井上哲士の読み方・生年月日・出身地

- 記載内容：「井上哲士（いのうえ さとし）議員」「1958年生まれで広島県で育ち」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイトによると「1958年5月5日山口県徳山市生まれ。広島市で育ち」

#### 出身大学・経歴

- 記載内容：「京都大学法学部を卒業後、「しんぶん赤旗」記者や衆議院議員秘書などを経て党職員として活動」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイトで「京都大学法学部卒業○在学中に日本共産党に入党。梅田勝衆院議員秘書、「しんぶん赤旗」政治部記者」と記載

#### 当選回数

- 記載内容：「当選4回を数えるベテラン政治家」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipediaによると「2001年初当選、2007年再選、2013年3選、2019年4選」

### 2. 数値情報

#### 消費税増税時期

- 記載内容：「2019年10月に消費税率は予定通り8%から10%へ引き上げられ」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：複数の信頼できる情報源で「2019年10月1日に消費税が10%へ引き上げられた」と確認

#### 政党助成金受け取り拒否

- 記載内容：「日本共産党は受け取りを拒否しており」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：日本共産党公式サイトで「政党助成金を受け取らず、制度の廃止を強く主張している」と明記

## 河井事件の金額

- 記載内容：「1.5億円もの自民党本部資金の大半が政党助成金だった」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipediaで「自民党から河井夫妻に対して、1億5000万円が資金提供されていた」と記載

## 国会発言回数・文字数

- 記載内容：「2015年から2025年までの井上哲士議員の国会発言回数は約300回に上り、その発言内容（会議録上の発言文字数）は累計で70万字前後に達します」
- 検証結果：△要確認
- 正しい情報：具体的な数値を確認できる信頼できる情報源が見つからなかった
- 根拠・出典：記事中の出典として「国会議員白書」が挙げられているが、検索では具体的な数値を確認できず

## X (Twitter) フォロワー数

- 記載内容：「2025年時点では約2万4千人に達しています」
- 検証結果：△要確認
- 正しい情報：具体的なフォロワー数を確認できる信頼できる情報源が見つからなかった
- 根拠・出典：記事中の出典が曖昧で、現在のフォロワー数を正確に確認できず

# 3. その他の重要な事実関係

## 安保法制成立時期

- 記載内容：「2015年の安保法制審議」「安保法案強行採決」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：内閣官房と複数の情報源で「平成27年9月19日、平和安全法制関連2法が成立」と確認

## 核兵器禁止条約発効時期

- 記載内容：「核兵器禁止条約自体は発効（2021年）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：国連広報センターおよび複数の信頼できる情報源で「2021年1月22日に発効」と確認

## 井上哲士の出身高校

- 記載内容：記載なし（記事では触れられていない）
- 検証結果：△要確認
- 正しい情報：参議院公式サイトでは「広島県立国泰寺高校」卒業と記載されているが、記事では言及されていない

## YouTube登録者数

- 記載内容：「登録者数は数百人規模（約500人）」
- 検証結果：△要確認
- 正しい情報：具体的な登録者数を確認できる最新情報が見つからなかった

# 改善提案

## 修正が必要な箇所

- 国会発言統計の確認**：発言回数300回、文字数70万字という具体的数値について、より信頼できる出典の確認が必要
- SNS関連数値の更新**：X（Twitter）フォロワー数、YouTube登録者数について、最新かつ正確な数値の確認が必要

## 追加確認が推奨される情報

- 詳細な経歴情報**：出身高校（広島県立国泰寺高校）などの詳細な経歴情報の記載検討
- 議員連盟の具体的な活動内容**：記載されている多数の議員連盟について、参加時期や具体的な役職の確認
- 政策実現度の評価**：公約と実績の分析について、より客観的な評価基準の設定
- 引用・出典の充実**：一部の主張について、より具体的で検証可能な出典の追加

## 全体的な評価

記事の大部分の基本的事実（生年月日、経歴、重要な政治的出来事の時期など）は正確に記載されています。ただし、統計的数値やSNS関連の情報について、より最新で正確な情報源の確認が望ましいと判断されます。政治的な評価や分析部分については、客観性を保持しつつ、より多角的な観点からの検証が推奨されます。